

ミニ企画展 — なつかしい風景 —

# 写真家・北熊市展

～ごあいさつ～

私たちの郷土・熊谷は、明治6年ごろ埼玉県で初めての写真館・吉原写真館が開業してから、中澤麗泉の真雅堂、中村成一郎の中村写真館など数多くの写真館が開業し、明治42年には県内で初めてと考えられる写真品評会が開催されるなど、写真文化の先鋭的な活動がみられました。また、昭和4年に「熊谷白陽会」(現在の「熊谷白陽写真会」)が創立されるなどの環境もあり、佐藤虹二や石川守彦、日向清次等プロ顔負けのアマチュア写真家が多く生まれました。その中の1人として北熊市氏が挙げられます。

氏は熊谷市制が始まる昭和8年に生まれたことから「熊市」と名付けられたとのことで、「熊谷」にこだわって活動されました。写真のモチーフは、気取らない市井の人たちの姿やごくありふれた日常の町並で、その時々風景を一つの被写体として捉える技術に定評があります。また、恩師の教えである「写真は記録」を大事にされ、それを撮影に反映した氏の視点は、芸術と記録を両立させた作品群を生み出しました。

また氏は、数多くの美術展で入選・受賞されたほか、熊谷市美術家協会会長などの要職を歴任され、写真を通して地域文化の振興にも大きく寄与されました。

今回の展示では、当館の所蔵品から昭和を中心としたなつかしい日常を写した作品を展覧いたします。時とともにその価値が増す北熊市の作品について知っていただければ幸いです。



行商(赤城町) 昭和46年



屋台店のある星川 昭和38年

会期：令和3年3月9日(火)  
～令和3年6月6日(日)

[休館日：毎週月曜日(祝日は除く)、4/2、4/30、5/6、5/7、6/4]

会場：熊谷市立熊谷図書館 3階 郷土資料展示室

時間：午前9時～午後5時

主催：熊谷市立熊谷図書館 住所：熊谷市桜木町二丁目33番地2 電話：048-525-9463



蛭川姉妹 (東別府) 昭和45年



田植風景 (柿沼) 昭和46年



雨上がりの朝 (石原駅へ) 昭和41年



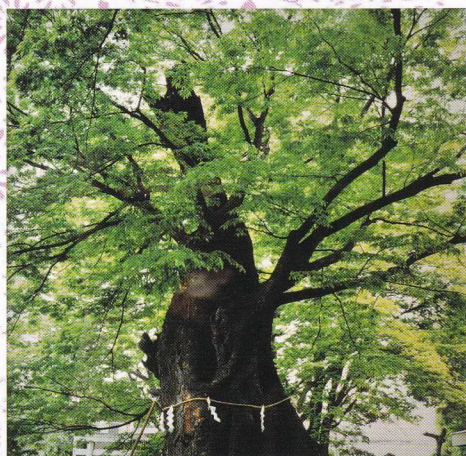
農家 (東別府) 昭和56年



祭りの日 (伊勢町) 昭和57年



雪の冠水橋 (久下) 平成7年



御神木 新緑 (高城神社) 平成15年



2・3年の歳月 (2枚1組) 昭和56年、平成16年

※このチラシは1,500枚制作し、制作費用は1枚当たり13円です。